

学校だより

かがやく子

令和6年4月26日

滑川市立寺家小学校

仲間と支え合える学校を目指して

校長 村杉 一也

4月1日に赴任しました校長の村杉一也（むらすぎかずや）です。どうぞよろしくお願ひいたします。明るく元気で素直な子供たちに囲まれ、歴史と伝統ある寺家小学校で勤務させていただくことを大変嬉しく思うと同時に、責任の重さをひしひしと感じています。

新入児童53名を迎えて256名の児童と38名の職員（他校との兼務者を含む）で、令和6年度のスタートを切りました。

本校の児童会には「あいさつ星」「なかよし星」「チャレンジ星」「おまもり星」の4つの星が子供たちに投げかけるスローガンとして位置付いています。どれも素敵な言葉です。これらの言葉の大切さを子供たちが理解できるよう、一人一人を見つめて取り組んでいく所存です。まず願う子供の姿として、友達など、ほかの人のことを考えてあげられる人になってほしいと思います。乳幼児期、自分のことでいっぱいだった心の中が、幼稚園や保育園、そして小学生になって、だんだん人のことを考えられるようになってきたのではないのでしょうか。人のことを考えることができるようになる。それが成長だと思います。自分のことを大切にしながらも、周りの人のことを考えてあげることができる人に成長してほしい。そうすれば、きっとお互いを支え合える仲間となります。あたらしい学年になって、うれしい気持ちもたくさんあるけど、中には不安な気持ちをもっている子供もいると思います。そういった仲間をみんなで支えてあげられる寺家小学校になることを願っています。

本年度も教育目標やスローガン、合い言葉の下、たくさんの子供たちの成長が見られるでしょう。様々な機会を捉えてお知らせしていきたいと思っています。

これまでと同様、保護者や地域の皆様の思いや願ひを取り入れ、連携しながら教育活動を展開し、地域の宝物である子供一人一人を育てていきたいと思っています。

本校の教育活動に対しまして、保護者の皆様にはご理解とご協力、地域の皆様には温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。